

令和2年4月17日

## 新型コロナウイルス感染症に関してお願い

社会福祉法人山王平成会  
阿久和保育園長 小林 優子

保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。

保護者の皆様も報道等でご存知の通り、横浜市内の保育所で休園措置などの事例が発生しております。また、香川県の保育所ではクラスター感染が発生しました。これらの報道を聞くにつれ一層の不安が募ります。どこで感染が起こってもおかしくない、決して安心できない状況にあります。

保育園は、本質的に「こどもとこども」「こどもと大人」の“濃厚接触”の場です。どんなに消毒しても、どんなに換気しても、感染のリスクをゼロにすることは不可能です。保育園が引き続き保育していくために、保護者の皆様のご協力が是非とも必要です。以下の点につきましてご理解ご協力を強くお願い申し上げます。

★こどもたち、保育園職員を合わせた「**保育園に居る人数を少なくする**」ことが感染の確率を大きく下げることに繋がります。**仕事が休み、仕事時間が短くなった保護者の方は、お子さんを休ませる、早くお迎えに来るなどしてください。**

★ご家族の方どなたかが**微熱、咳等体調不良の場合**お子様はご家庭で過ごすようにしてください。

★保育園では通常以上に消毒、清掃作業をしております。連絡帳、お知らせボードの内容を必要最低限に簡略化する事もあります。ご了承ください。

★給食食材の納入状況により、当日急遽献立変更する場合も想定されます。ご了承ください。

★保育士、調理員は多少の体調不良でも、自宅待機させます。そのため、職員配置が基準を欠く日も想定されますがご了承ください。

## 【保育現場から】

病気に対する抵抗力が低い子どもたちを、お預かりする保育園では、新型コロナウイルス感染症対策以前から、日常的に、手洗い、うがい、消毒、換気など徹底して行っております。発達途中にある子どもたちの集団保育の場での現状を、お伝えさせていただきます。

### ★子どもは、約2mの距離を保てません

大人に比べて、他者との距離感が非常に近いのが子どもの特徴です。複数の子どもが集まれば、あそぶとき、話をするとき、“からだとかからだ”を寄せ合います。“ほほとほほ”をくっつけます。抱っこやおんぶをしてもらいたいのが子どもです。抱っこする、おんぶする保育士は、子どもと2mの距離を空けて保育することはできません。保育現場は“ソーシャルディスタンス”はできません。

### ★3密＝密閉・密接・密集を避ける事はできません

感染拡大防止に3密が求められていますが、どんなに換気をして、園庭でも3密は避けられません。保育園内どこにいても3密状態です。子どもはともだちとあそぶことが仕事です。保育は子どもに触れるところから始まります。保育園では、3密を避けることは極めて困難です。

### ★乳児はいろいろな物を舐め、その手で触ります

乳児は物を舐めて育ちます。「これはなに？」と口で物を確かめます。保育園では玩具や保育室を常に消毒しています。しかし、日常的に舐めることが前提としてあるのが保育現場です。そこからの感染リスクがあることをご承知おきください。

### ★子どものマスク着用は困難です

感染防止のため、マスク着用が勧められていますが、子どもにはマスク着用が難しいです。乳児は特にマスクを嫌がります。幼児でも顔に何かに触れていることが苦手なお子さんがあります。また、お友だちのマスクに手で触れてしまうお子さんもいます。大人と比べ感染防止のためにマスク着用が馴染まないのが保育現場です。

**保育園は 子どもたちの笑顔のために がんばって まいります**